

まちづくり市民懇話会

とことん懇話会

TOPICS

第23回（書面開催）では、これまでの議論を踏まえ、基本構想・基本計画の内容案等の資料をお示しし、皆さまからご意見をいただきました。今回は、それら意見の確認を行い、意見交換を実施しました。また、計画案に示す「PDCAサイクル」等について、その仕組みのあり方などのテーマで、意見交換をしました。

オンラインで
開催！



とことん1

到達目標

基本構想（素案）、基本計画（骨子案）、都市計画マスタープラン（全体像・試案）の内容について、共有・意見交換しましょう。

本日、基本構想（素案）、基本計画（骨子案）、都市計画マスタープラン（全体像・試案）の内容について（第23回書面開催）提出されたご意見と今後の対応についてをお示しし、皆さまからご意見をいただきました。

とことん2

テーマ PDCAサイクルの考え方について

計画では、PDCAサイクルを回しながら、常に取り組の改善と実行を図る必要があります。また、市民の役割を基本計画に記載しますが、**市民の役割に基づいた取組の成果を振り返り、改善につなげる仕組みの検討が今後必要になります。**

この点についてグループで意見交換し、**どのような仕組があれば、市民の役割・取組についてPDCAサイクルを回せるか**について、議論しました。

裏面につづく➡

■開催概要

第24回：令和4年 2月13日（日）

場 所：岸和田市立福祉総合センター

参 加 者：市 民：臨時会場 4名 オンライン 13名

若手職員：現地 3名

議 題：1. 次期総合計画と都市計画マスタープランに対する意見照会の結果について
2. 次回について

とことん2

5つのグループに分かれて、それぞれ意見交換し、最後にグループごとに発表し、全体で意見を共有しました。以下、主な意見を示します。

	主な意見
Plan (計画)	- 計画策定の時だけでなく、継続して議論する仕組みが必要 テーマ（分野）ごと、地域ごとに、議論の場が必要
Do (実行)	- 総合計画では、懇話会で出された意見が抽象化して記載されており、行動に移しにくい（自分ごと化しにくい） - 実行に移すためには、計画を市民に周知する（認知してもらう）ことが必要 →多様なツールを活用した情報発信 - 実行に移すための支援やインセンティブがあるとよい →チェックリスト、強化月間、ポイント制の導入など
Check (評価)	- 市民が一人でCheckを行う（PDCAをまわす）ことは難しい →個人の活動にフィードバックがあれば、ためになる 「みんなでめざそう値」を実感がわく・実践できるものにすべき 意見を集約する方法が大事（組織が必要）
Action (改善)	- 評価組織である審議会などでは対応できない課題についてどのように対応するのか →多面的なメンバーによる議論 - 事業者はSDGsの取組が求められており、指標と紐づいていると取り組みやすいのではないか 懇話会メンバーが計画のPDCAを見守れる仕組みがあるとよい

とことん3

懇話会後の参加市民からの感想です



- 特に、Do（実行）について市民に理解してもらう方法を具体的に検討する必要がある。また、町会に属していない人のための、地域や同世代の話し合いの場所の提供なども検討することも重要。
- 基本計画を推進するのは誰であるか、ターゲットを明確にするといいと思いました。市民全員なのか、各町の町役員なのか、市役所職員なのか、過去の知見を活かして推進すると思います。
- 皆さん、実行に移すための支援やインセンティブとして、ポイント制の検討や、SNSの活用など、素晴らしいアイデアを持っていて、とても勉強になりました。

など

■今後の予定

【第25回】令和4年 2月 27日（日） 基本構想(素案)、基本計画(骨子案)、
都市計画マスタープラン(全体像・試案)について

【第26回】令和4年 3月 13日（日） 基本計画(骨子案)の精査（指標の検討や評価方法）

【第27回】令和4年 3月 27日（日） 基本計画(素案)の精査
（指標の検討や評価方法、専門家招聘など）

お問い合わせ：岸和田市役所 総合政策部企画課 政策担当 （tel. 072-423-9492）